

芽室町新しい働き方への 改革ロードマップ

2030年

デジタルのチカラで人に寄り添い、新しい価値を創造できる集団へ

令和8年3月策定 政策推進課DX担当



はじめに・ロードマップの目的

芽室町では、芽室町DX推進ビジョンに掲げる理念「**いまいるところがあなたの芽室町役場**」の実現を目指して令和5年度からDXを本格的に推進してきました。

DXとは、単にデジタル化することではなく、少子高齢化が進み、刻一刻と変化する不確かな世の中にあっても持続可能な「まちづくり」「ひとづくり」を行う手段の一つです。ただ、手段の一つではあるものの、「**デジタルを活用すること**」はこれからの世の中にとって**必須**です。つまり、デジタルネイティブ、AIネイティブというデジタルやAIを活用することが前提となる**新しい働き方へシフトチェンジ**することが必要です。

本ロードマップは、団塊ジュニア世代が65歳以上を迎える2040年、そしてその先に国全体で見据える2050年のSociety5.0に向けて、**2030年までには、新しい働き方改革と改革に必要な環境を整える状態とすべく**、必要なネットワークやツールといったデジタル環境の整備と、それらに付随するセキュリティポリシー、法令の整備といったソフト・ハード両面の改革プロセスを示すものです。



ロードマップの位置づけ



芽室町新しい働き方への改革ロードマップ

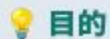
- 本ロードマップに載っているツール導入やネットワーク改革など経費のかかるものは、実行計画、予算という段階を踏んで実現します。
- 具体的な商品名は作成段階のものです。都度、見直しながら導入を進めます。



目指す姿と全体タイムライン



いまいるところがあなたの芽室町役場



住民にデジタルを強いるのではなく、職員の創意工夫で徹底的に内部業務を効率化。
生み出した時間で、現場・相談・伴走などに寄り添い、新しい価値を生み出せる集団へ。

～令和8年度

推進体制の構築

DXの機運醸成

1係1DXの取組

基本的なツール導入

目指す働き方の定義

現行ビジョンの終期。
必要なツールの検証・導入と
組織のDXの自分ごと化を推進。

令和9年度～

新たなデジタル推進計画始動

ネットワーク基盤の改革

AIネイティブな環境構築

人に寄り添い

新しい価値を生み出す働き方のスタート

ネットワークの移行完了と
AIネイティブな環境の本格稼働。
新しい働き方の全庁展開。

令和12年（2030年）目標

地域に飛び出す

シン・現場主義の実現

人にしかできない業務に集中し
持続可能なまちづくり、ひとづくりを
実現する。



令和12年（2030年）までに目指す姿の全体像

- すでに取り組んでいるもの
- 今後着手予定の取組

住民の皆さん



役場側



住民にデジタルを強いるのではなく、職員の創意工夫で徹底的に内部業務をフルデジタル化。生み出した時間で、現場・相談・伴走などに寄り添い、新しい価値を生み出せる集団へ。

